

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク
2017年度（平成29年度） 事業報告書

I. 事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②アレルギー大学事業および栄養士派遣事業を基盤事業として発展させる。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 情報の普及・啓発・交流事業

各地で行われる「会」の交流会、講演会、ホームページ、メルマガなどを通してアレルギーに関する科学的知識の普及啓発及び交流を行う。

1) アレルギーの会支援事業

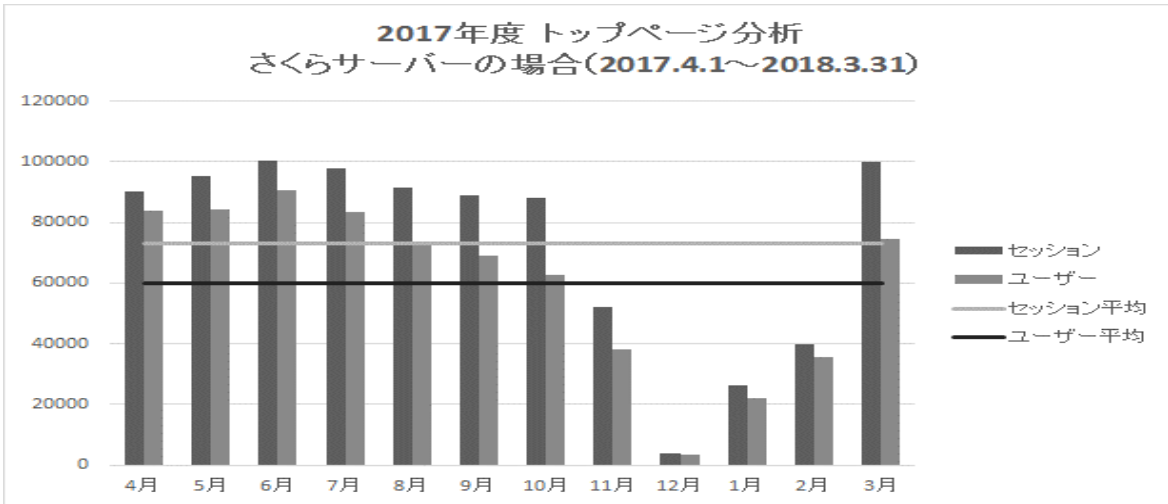
①会の設立と活動を支援する事業

事業内容	<p>*保健所・保健センターなど地域の保健機関や市民活動推進センター、子育てNPOなどと連携をして、既存の会の活動支援と、要望の強い地域があれば会の新規設立支援をする。 名古屋市内の患者会については、各区の保健所と連携した支援ができるよう働きかけをする。</p> <p>*「東海アレルギー連絡会」の事務局として、会の目的である「アレルギーなどの問題解決に関する活動」を行う。給食問題などアレルギー施策の向上をめざし、各地の患者会と協働して、自治体や諸団体への普及啓発活動や、平常時の防災活動と災害時の相互支援活動を行う。</p> <p>*各会が運営資金を得ることができるよう、小口の助成金収入と、共同購入を通しての活動支援金が増えるよう支援する。</p>
結果	<p>東海地域にある 40 団体中 24団体に、のべ 74 回の活動支援をした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岐阜市の会は、長良医療センターにおいて、医師によるミニ講座つきの交流会を開催した。 7/14(金)「アレルギーの基礎知識」16家族 10/6(金)「入園・入学準備」21家族 1/19(金)「アレルギーっ子の災害対策」10家族 2. 小中学生の子どもをもつ親の会を開催した。 8/23(水)「アニメで学び、親子で語ろう、アレルギーの病気」南生協病院・講師:増田進先生 9家族(親9人、子12人)が参加し、エピペンの実習もおこなった。 3. 患者会の共同購入による活動支援金 2団体に対して542円 4. 東海アレルギー連絡会(患者会27団体参加)の事務局として、3回の交流会を開催し、年賀寄附金助成事業も実施した。また13,500円を支援した。 7/17(月祝)(総会&炊き出し実習)21団体33人が参加した。 12/10(日)(アレルギー対応給食に関する要望書の提出について)12団体 16人が参加した。 3/18(日)(患者会の運営と活動資金について)16団体 17名が参加した。 <p>その他、給食センターとの懇談会に同席した。 半田アレルギーの会6/20(火)、アレルギーっ子の会in瀬戸8/17(木)、 東郷アレルギーの会10/13(金)、岡崎アレルギーの会11/20(月) 東海アレルギー連絡会(27団体参加)</p>

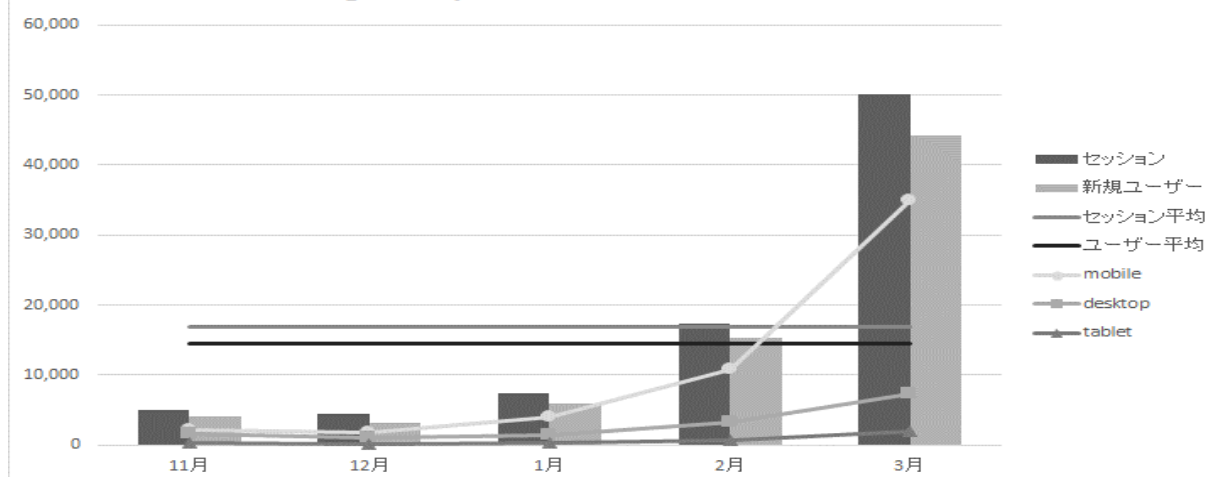
②スタッフ、リーダー育成事業

事業内容	アレルギーの会を支えるリーダーのスキルアップを図るため、アレルギー大学基礎・初級以上に参加するリーダー（各会3人以内/年）の資料代などを免除し、中級以上の受講については交通費も補填する。又、スタッフもスキルアップをはかるため、学会や研究会に参加をする。
結果	「リーダー養成講座」として、アレルギー大学を 2団体(岐阜市の会、東海市の会)のリーダー2人が受講。資料代を免除し中級講座以上の交通費を補填した。 103,640 円 スタッフの学会・研究会の交通費・参加費の補助 207,430 円 (日本小児臨床アレルギー学会・日本小児アレルギー学会)

2) ホームページ・メールマガジンによるWeb情報の提供

事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. HPの情報の追加と更新をタイムリーに行う。 2. 法人会員中心に広告の募集をする。 3. facebook、gooddo（ソーシャルグッドプラットフォーム）に定期的に活動報告をする。 4. リニューアルしたショッピングサイト(共同購入含む)を運営する。 5. HPのレスポンス化
結果	<p>【HP閲覧状況】 閲覧総数（訪問数）： 874,504（2017年4月～2018年3月合計数）</p>  <p>セッション平均：72,875（2017年4月～2018年3月） ユーザー平均：60,061（2017年4月～2018年3月）</p> <p>用語解説</p> <p>◆セッション そのサイトへの訪問のことを言います。1回そのサイトを訪れたら、セッション数が1ということになります。セッション数が18,000なら、該当期間に18,000回そのサイトが見られている、と判断できます。</p> <p>◆ユーザー そのサイトを訪れた人数のことです。例えば1人のユーザ（同じブラウザで）が3回同じサイトを閲覧した時、セッション数は訪問した数なので3になりますが、ユーザ数は1になります。</p> <p>【HPのレスポンス化】 2017年11月14日より新HPの運営開始。 Google Analyticsでのアクセス解析も導入。</p>

2017年度 トップページ分析
Google Analyticsの場合(2017.11.14~2018.3.31)



Google Analyticsの導入の結果、端末について調べることができるようになり、11月~3月までの5ヶ月間のHP閲覧端末合計を分析すると mobile (携帯端末) 75%、desktop (パソコン) 20%、tablet (タブレット端末) 5%だった。携帯端末 (スマートフォン) の対応は今後、重要であることがわかった。

【リニューアルしたショッピングサイト(共同購入含む)を運営する。】
2017年12月1日より運営を開始した。

【メルマガ登録者数】 2,079名 (内 PC用: 1,335名 携帯用: 744名)
＜新規登録＞PC用: 142件 携帯用: 79件

【gooddo(ソーシャルグッドプラットフォーム)】 広告協賛費としての収入 21,331円
※2018年1月28日をもって、応援ポイントの支援機能は終了。応援ポイント以外の支援は継続中。
【GIVEONE】 オンライン寄付サイト 23,173円 (手数料3,474円含む)
【東海ろうきんNPO 寄付システム】 37,500円

3) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

事業内容	<p>アレルギーなどに関わる科学的知識や実生活に役立つ情報を広げる講演会や講習会を行う。 また、自治体や企業からの依頼に応じ講師を派遣する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会」(あいち小児保健医療総合センター)食物アレルギー児の誤食事故の対策として園や学校の教職員などから要望の多い講習会を年に2~3回程度開催する。その他、ニーズに応じたテーマの講座を新規に開講する。 講演会講師の派遣 自治体や企業からの依頼に応じ、アレルギー専門医・管理栄養士など講師の派遣を行う。 アレルギーっ子のフェア開催 (2018年 3月 11日 (日) 名古屋国際会議場 展示室) 各地の患者会が主催する講演会に協力する 																																																																				
結果	<ol style="list-style-type: none"> アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会 <table border="1" data-bbox="576 510 1161 949"> <thead> <tr> <th>【参加者所属 内訳 人数】</th> <th>5/13 (土)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保育園</td><td>8</td></tr> <tr><td>幼稚園</td><td>7</td></tr> <tr><td>小学校</td><td>29</td></tr> <tr><td>中学校</td><td>2</td></tr> <tr><td>特別支援学校</td><td>2</td></tr> <tr><td>保護者・個人</td><td>10</td></tr> <tr><td>施設</td><td>2</td></tr> <tr><td>教育委員会・市関係</td><td>13</td></tr> <tr><td>病院</td><td>1</td></tr> <tr><td>合計</td><td>74</td></tr> </tbody> </table> <p>【その他の講演会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8/19 (土) 「入園・入学準備」講習会 67名 (大人 53名、子ども 14名) <table border="1" data-bbox="400 1025 1337 1111"> <thead> <tr> <th>【参加者所属 内訳 人数】</th> <th>保護者</th> <th>園・学校関係者</th> <th>小学校</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8/19(土)</td> <td>39</td> <td>13</td> <td>1</td> <td>53</td> </tr> </tbody> </table> 講演会講師の派遣 <p>【依頼先について 件数】</p> <table border="1" data-bbox="536 1223 1203 1384"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>自治体</th> <th>園や学校</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>2</td><td>7</td><td>1</td><td>10</td></tr> <tr><td>その他</td><td>11</td><td>4</td><td>15</td><td>30</td></tr> <tr><td>合計</td><td>13</td><td>11</td><td>16</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> <p>【テーマについて 件数】</p> <table border="1" data-bbox="536 1424 1203 1585"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>緊急時の対応</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>7</td><td>3</td><td>10</td></tr> <tr><td>その他</td><td>8</td><td>22</td><td>30</td></tr> <tr><td>合計</td><td>15</td><td>25</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> 第13期アレルギー大学開講記念講演会&アレルギーっ子のフェア 2018年3月11日 (日)開催 一部、年賀寄付金助成金により実施。名古屋国際会議場 展示室 全体参加者 324名 メインテーマ「アレルギーっ子の災害対策」 特別講演「経口免疫療法の注意点と食物経口負荷試験の大切さ」 講師：坂本理事長 ミニセミナー・体験コーナー (PAE) ・子どもお楽しみ企画・スタンプラリー 第12期アレルギー大学修了証授与式 (修了生 58名中 34名参加) 各地の患者会が主催する講演会に協力(講師派遣・資料展示など) Rinrin豊橋アレルギーっ子の会(栄養食事指導7/20・調理実習9/7) Rinrin豊橋アレルギーっ子の会 (講演会11/26) アレルギーっ子の会in瀬戸(災害対策勉強会2/25) 半田アレルギーっ子の会~Poco a Poco~(防災シンポジウム3/24) 	【参加者所属 内訳 人数】	5/13 (土)	保育園	8	幼稚園	7	小学校	29	中学校	2	特別支援学校	2	保護者・個人	10	施設	2	教育委員会・市関係	13	病院	1	合計	74	【参加者所属 内訳 人数】	保護者	園・学校関係者	小学校	合計	8/19(土)	39	13	1	53	講師	自治体	園や学校	その他	合計	医師	2	7	1	10	その他	11	4	15	30	合計	13	11	16	40	講師	緊急時の対応	その他	合計	医師	7	3	10	その他	8	22	30	合計	15	25	40
【参加者所属 内訳 人数】	5/13 (土)																																																																				
保育園	8																																																																				
幼稚園	7																																																																				
小学校	29																																																																				
中学校	2																																																																				
特別支援学校	2																																																																				
保護者・個人	10																																																																				
施設	2																																																																				
教育委員会・市関係	13																																																																				
病院	1																																																																				
合計	74																																																																				
【参加者所属 内訳 人数】	保護者	園・学校関係者	小学校	合計																																																																	
8/19(土)	39	13	1	53																																																																	
講師	自治体	園や学校	その他	合計																																																																	
医師	2	7	1	10																																																																	
その他	11	4	15	30																																																																	
合計	13	11	16	40																																																																	
講師	緊急時の対応	その他	合計																																																																		
医師	7	3	10																																																																		
その他	8	22	30																																																																		
合計	15	25	40																																																																		

4) アレルギー相談事業

事業内容	E-mailや電話による相談 ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対して各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う。
結果	【電話による相談件数】 個人:34件(治療11件、食物アレルギー10件、患者会3件、災害2件、講師派遣1件、環境アレルギー1件、学童保育1件、物販3件、大人1件、その他1件) 企業・マスコミ:12件(企業5件、自治体3件、団体4件)

5) アレルギー大学修了生(マイスター・サポーター)による普及啓発活動

事業内容	① マイスターやサポーターに対し活躍の場を提供する。 ② 地域の「会」への支援を行う「サポーター」の育成をし、「サポーター」の組織化を図る。 ③ マイスター・サポーター会議を年に2回程度開催し、地域や職場などにおける患者支援に関する取り組みを検討する。
結果	① アレルギー大学・調理実習サポーターの育成および講師の育成 パブリックリソース財団・SROIヒヤリングに協力 4/26・5/21 ② 守山の会・天白の会・東海市の会・西尾市の会への支援 ③ マイスター・サポーター会議開催 2/24(土)

6) アレルギー患者家族支援事業

事業内容	自治体からの受託事業として、アレルギー患者家族の支援を行う。 ① 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室およびぜん息親子教室)において患者家族の交流会を担当する。 ② 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。 ③ 蒲郡市教育委員会「食物アレルギー対応給食検討委員会」のオブザーバーを務める。 ④ 愛知文教短期大学「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の委員を務める。
結果	① 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室およびぜん息親子教室)において患者家族の交流会を支援ネットの職員と患者会のリーダーが担当。各日程 4人。 親子:9/3. 2/18 小学生:8/26. 10/15. 11/26. 2/3 ② 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。(伊藤副理事長・中西) 5/29. 12/11 ③ 蒲郡市教育委員会「アレルギー対応給食検討委員会」の委員を務める。(中西) 9/27. 3/22 ④ 愛知文教女子短期大学「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業の委員を務める。(中西) 7/14. 11/24 ⑤ 名古屋市公害保健課「名古屋市乳幼児アレルギー実態把握等に係る検討会議」の委員を務める。(伊藤副理事長・二村理事・中西) 9/13. 12/11. 2/23 ⑥ 西尾市教育委員会アレルギー対応委員会の委員を務める。(中西) 7/21

(2) 専門職の育成支援事業

1) 「アレルギー大学」事業

事業内容	① 「アレルギー大学」 愛知、新潟、千葉、京都、沖縄 各会場にて開講する。 千葉会場は、「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」、京都は、「NPO法人アレルギーネットワーク京都 ぴいちゃんねっと」、沖縄は「アレルギー対応沖縄サポートデスク」が独立採算で運営をする。
	② 「アレルギー大学ベーシックプログラム」 栄養士や保育士養成校の学生および一般を対象に、アレルギー大学1日集中講座を開講し、修了認定証を発行する。愛知、静岡、三重、岐阜、新潟、千葉で開講する。 (千葉は「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」が運営する。)
	③ 企業において出張アレルギー大学を開講する。 中級講座(昨年度の基礎初級受講生対象) : 6/3. 6/10 基礎初級講座(今年度の新規受講生対象) : 9/9. 9/16. 9/30. 10/14. 10/28. 11/25
	④ 第13期アレルギー大学 カリキュラム改革

結果	① 「アレルギー大学」																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">会場</th> <th rowspan="2">のべ人数</th> <th colspan="5">レベル</th> <th rowspan="2">修了生</th> </tr> <tr> <th>基礎・初級</th> <th>中級</th> <th>上級</th> <th>研究実践講座</th> <th>研究実習</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛知</td> <td>1514</td> <td>645</td> <td>480</td> <td>307</td> <td>63</td> <td>25</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>新潟</td> <td>67</td> <td></td> <td>67</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>千葉</td> <td>684</td> <td>365</td> <td>166</td> <td>153</td> <td></td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>京都</td> <td>325</td> <td>200</td> <td>84</td> <td>41</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>沖縄</td> <td>308</td> <td>308</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	会場	のべ人数	レベル					修了生	基礎・初級	中級	上級	研究実践講座	研究実習	愛知	1514	645	480	307	63	25	58	新潟	67		67					千葉	684	365	166	153			20	京都	325	200	84	41			0	沖縄	308	308					2
	会場			のべ人数	レベル					修了生																																												
		基礎・初級	中級		上級	研究実践講座	研究実習																																															
	愛知	1514	645	480	307	63	25	58																																														
	新潟	67		67																																																		
	千葉	684	365	166	153			20																																														
	京都	325	200	84	41			0																																														
	沖縄	308	308					2																																														
	② 「アレルギー大学ベーシックプログラム」																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>【受講者人数】</th> <th>開催日</th> <th>学生</th> <th>一般</th> <th>合計(昨年比較)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新潟会場</td> <td>6/11(日)</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>69(-4)</td> </tr> <tr> <td>岐阜会場</td> <td>7/9(日)</td> <td>7</td> <td>59</td> <td>66(-3)</td> </tr> <tr> <td>三重会場</td> <td>7/16(日)</td> <td>30</td> <td>42</td> <td>72(+29)</td> </tr> <tr> <td>愛知会場</td> <td>10/22(日)</td> <td>311</td> <td>90</td> <td>401(-295)</td> </tr> <tr> <td>静岡会場</td> <td>11/4(土)</td> <td>9</td> <td>137</td> <td>146(+6)</td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td></td> <td>392</td> <td>362</td> <td>754(-267)</td> </tr> </tbody> </table>	【受講者人数】	開催日	学生	一般	合計(昨年比較)	新潟会場	6/11(日)	35	34	69(-4)	岐阜会場	7/9(日)	7	59	66(-3)	三重会場	7/16(日)	30	42	72(+29)	愛知会場	10/22(日)	311	90	401(-295)	静岡会場	11/4(土)	9	137	146(+6)	総合計		392	362	754(-267)																			
【受講者人数】	開催日	学生	一般	合計(昨年比較)																																																		
新潟会場	6/11(日)	35	34	69(-4)																																																		
岐阜会場	7/9(日)	7	59	66(-3)																																																		
三重会場	7/16(日)	30	42	72(+29)																																																		
愛知会場	10/22(日)	311	90	401(-295)																																																		
静岡会場	11/4(土)	9	137	146(+6)																																																		
総合計		392	362	754(-267)																																																		
③ 企業における出張アレルギー大学																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">受講者数</th> </tr> <tr> <th>基礎・初級</th> <th>中級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>103</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table>	受講者数		基礎・初級	中級	103	56																																																
受講者数																																																						
基礎・初級	中級																																																					
103	56																																																					
④ 第13期アレルギー大学に向けたカリキュラム策定																																																						
【アレルギー大学委員会】 5/18. 7/18. 9/28. 10/26. 1/26																																																						
【カリキュラム策定会議】 7/2																																																						

2) 「インターネットアレルギー大学」事業

事業内容	第9期アレルギー大学の講座をインターネットで配信する。(5月末に申込受付を終了した。)	
結果	<インターネットアレルギー大学> 第9期アレルギー大学を配信 受講中の方 52名 (2018年9月末までの事業) 上級修了人数 14名	
	コース	申込み受講状況 (2017年度)
	初級のみ	9
	中級のみ	1
	上級のみ	3
	初級+中級	0
	中級+上級	3
	初級+中級+上級	50
	合計	66

3) アレルギー教本作成普及事業

事業内容	保育園・学校などが行うアレルギー給食の担い手である栄養士、調理員、保育士、教員など専門職を対象に、食物アレルギーの手引書「これだけでわかる食物アレルギー～基礎的な知識から専門的な対応まで～」を第13期アレルギー大学のカリキュラムに合わせて改訂し、出版・普及する。
結果	アレルギー大学<新・旧教本> 572冊 (インターネット含む) 物販注文・書店<新・旧教本> 80冊 (インターネット注文、名古屋学芸大学・学会販売含む)

(3) 調査研究事業

1) 自主研究事業 今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 外食産業調査研究事業 (名芸大共同調査)

事業内容	名古屋学芸大学 (和泉教授) と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとにしたマニュアルを、ホテル・旅館で汎用できる内容にし、HPに掲載。広く一般に活用してもらう。
結果	名古屋学芸大学の予算で、旅館・外食産業などにおいて、研修会や相談を実施した。

② ひやりはっと事例集積研究事業

事業内容	藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院総合アレルギーセンター・近藤康人教授と協働で、アレルギー疾患に関する「ひやりはっと事例」を収集、解析し、教育関連施設事故防止などに役立てていただく。 「ひやりはっと事例集2017」作成に向けて、事例の収集を行う。(委託事業)
結果	7月末よりアンケート用紙の配布を開始し、東海3県の専門医・関係医療機関、患者会・親の会、アレルギー団体、アレルギー大学等で約2,230部配布。10月末日で締切、アンケート回答数は160件アレルギーセンターのHPに、ひやりはっと事例アンケート収集・入力フォームが完成。事例集のダウンロードもできるようになった。

- ③ 学童保育におけるアレルギー対応の実態調査、および、アレルギー研修の開催と
「アレルギー対応の手引き」作成事業〔あいちモリコロ基金 平成27年度大規模活動助成金事業
(愛知県学童保育連絡協議会との共催事業)・平成27年度～平成29年度3年間事業〕

事業内容	① 学童保育施設におけるアレルギー対応状況の実態調査(平成27年度実施済み) ② アレルギー研修会の実施(平成27年度～平成29年度) ③ 「アレルギー対応の手引き」作成(平成28年度)
結果	(あいち学童保育連絡協議会との協働事業) ①学童保育施設におけるアレルギー対応状況の実態調査(平成27年度実施済み) ②アレルギー研修会の実施(平成27年度～平成29年度) 6月28日(水) 9:30-12:00 学童保育におけるアレルギー対応ワークショップ(労働会館) 12月6日(水) 研修会 82名(ウインクあいち) 1月30日(火) 研修会 139名(ウインクあいち) ③「アレルギー対応の手引き」改訂版出版 2500部 (11月1日) 委員会・・・5/11.7/13.10/12.12/20 愛知学童保育連絡協議会加盟の学童保育所1029箇所および愛知県内市町村学童保育担当課54箇所に、てびきとアンケートを発送。

3) 受託事業

①臨床研究事業

事業内容	麹菌発酵大豆培養物のアトピー性皮膚炎に対する有用性と安全性に関する研究 軽度のアトピー性皮膚炎を有する20歳以上の成人男女50人。(2年間) 試験食品又はプラセボを6か月間摂取して、湿疹の改善効果を検討する。 近藤康人教授(藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院・総合アレルギーセンター)が受託した研究に対して、研究協力者として参加する。本研究において、対象者の募集及び受診案内、診察補助員の派遣、データ整理の補助、謝金の支払いなどを担当する。 実施期間・2年間(2017年1月～2019年3月)
結果	2017年1月開始から2018年3月末までに、目標の50名のリクルートを達成し、2018年12月で臨床試験終了の予定。

(4) 災害救援及び防災対策事業

1) 災害に備える事業

事業内容	① 各地の患者会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポートをする。 ② 東海アレルギー連絡会の事務局として、防災対策に関する司令塔の役割を果たす。 ③メルマガ登録(安否確認配信ツール)の促進と緊急時のおねがいカードの普及をする。
結果	①会の設立と活動を支援する事業 に掲載済み ②7/17 東海アレルギー連絡会 総会&炊き出し実習 ③メルマガ登録者に安否確認メールを配信するのは、震度6以上に変更。 緊急時のお願いカード申込み 53件 ④アルファ食品(株)より寄付いただいたアルファ化米を、地域の患者会・災害ボランティア・マイスター・サポーター・理事宅に備蓄依頼、配布をした。送料は患者支援事業より捻出した。

2) 災害ボランティアなどの団体と協同する事業

事業内容	「震災がつなぐ全国ネットワーク」、「あいち・なごや災害ボランティア・NPO ネットワーク」、「女性子ども支援ネット東海」、その他、東海地域の災害ボランティア団体・NPO と協同し、アレルギー患者家族の要支援対策の必要性を伝え、その具体化をすすめる。
結果	地域の患者会が、自治体や災害ボランティアと協働できるよう支援した。また、防災のイベントに患者会とともに参画した。 8/20(日) 春日井市総合防災訓練 10/8(日) 蟹江町民祭り 10/29(日) 関市防災訓練 11/11(土) 緑区防災フェスタ 11/12(日) 松阪市防災訓練 11/25(土) なごや防災フェスタ 11/26(日) 東郷町防災訓練 3/4(日) あそぼうさい(名古屋市緑区) 月に一度の名古屋災害ボランティア連絡会に出席

3) 他地域で発生する大規模災害に備えた救援事業

事業内容	他地域で大規模災害が起きた場合のアレルギー患者の支援については、平常時から他地域団体と災害対策の情報交換および相互支援体制の確立ができるよう啓発活動を行う。他地域で災害が起きた場合は、事務局に災害対策委員会を立ち上げ他団体(災害NPO・小児アレルギー学会・患者会・自治体など)と連携をして支援活動を行う。
結果	活動なし

4) 「食物アレルギー児に安全な避難所生活を保証するための炊き出し訓練及び調理実習の開催」事業 (平成29年度・年賀寄付金助成金事業) 195万円

事業内容	災害時の避難所で支給される食料や炊き出しの給食の多くは食物アレルギー対応がなされていない。食物アレルギー対応食を提供するための炊き出し訓練と調理実習を各地で開催するとともに、アレルギーに関する正しい理解を普及する。また、「炊き出し&場づくりの知恵袋」(レスキューストックヤード作製)を増刷し、広く情報提供に活用する。
結果	「炊き出し&場づくりの知恵袋」 7,000冊 増刷配布し普及啓発をおこなった。 (配布先・・・患者会・災害ボランティア団体・サポーター・食物アレルギーマイスターなど) アレルギーっ子の災害対策の講義&炊き出し実習 7/6(木) 名古屋災害ボランティア連絡会(月1回開催)にて、冊子増刷と炊き出し実習を広報 7/17(月祝) 東海アレルギー連絡会にて実施 21団体32人 講師:管理栄養士 8/6(日) 災害ボランティア・サポーター・保護者対象 10人 講師:管理栄養士 9/17(日) サポーター・保護者・派遣栄養士対象 13人申込み ※台風接近のため中止 10/9(月祝) 災害ボランティア・サポーター・保護者対象 18人 講師:食物アレルギーマイスター 10/30(月) アレルギーっ子サークルくれよん(一宮市)にて実施 災害ボラ・保護者・一般市民 大人28人子ども6人 講師:管理栄養士 11/21(火) 半田アレルギーの会にて実施(半田市助成金企画に協力) 災害ボラ・保護者・一般市民 11家族 講師:管理栄養士 12/2(土) 東海・関西・中国地域ネットワーク会議(レスキューアレルギー)にて実施(京都) 京都・広島・姫路・大阪・山口・松山の患者会 11団体16名参加 講師:管理栄養士 2/4(日) かけがわ子どもアレルギーの会にて実施 災害ボラ・市の職員・保護者・一般市民など 18名 講師:防災士 3/11(日) 助成金報告会

(5) 関連用品の販売普及事業

<p>事業内容</p>	<p>定款第三条「この法人は、日本国民に対して、アレルギー、アトピー、化学物質などの問題解決およびその患者支援に関する事業を行い、もってすべての国民の健康で快適な生活に寄与することを目的とする。」を達成するため、アレルギーなどの方ができるだけ安心して使用できる日常生活用品等の開発、普及、販売等の事業をおこなう。</p> <p>※新規書籍「食べるということ」普及事業 オールカラー ページ、1冊1500円（税込）、第1刷 2000部 患者家族、医療関係者、児童福祉、教育関係者などを対象に、食物アレルギーに関する理解を深め、 子どもたちが安全に楽しく過ごす環境づくりに寄与することを発刊の目的とする。 （製作費の一部は、平成28年度ニッポンハム食の未来財団・団体活動支援助成金で、700部は無償配布済み）</p>
<p>結果</p>	<p>① 「おいしく治す食物アレルギー攻略法」 第一版 4,000冊を3年半で完売した。 ② 「食べるということ」（エッセイ集） 122冊販売 ③ 保育園に対するお菓子販売を終了した。</p> <p>【売上内訳】 寝具…262,974 円 書籍…2,216,226 円 スキンケア…156,186 円 食品…607,864 円 その他 14,380 円 計…3,257,630 円</p> <p>小計より、活動助成金（保育園のお菓子購入額に対して 15%もしくは 20%を助成と患者会への活動支援金）の 107,108 円を引いて、合計 3,257,630 円</p>

(6) 医療機関への栄養士派遣事業

<p>事業内容</p>	<p>医療機関と委託契約を結び栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。 本年度も、従事者育成のため対象者の開拓をし、随時あいち小児保健医療センターアレルギー科で研修を行っていく。また、現在の派遣先で月の契約件数を増やしていく。 指導は、アレルギー大学を修了、またはそれに相当する管理栄養士で、非常勤栄養士7名が担当する。</p>																
<p>結果</p>	<p>13医療機関 月1～5回栄養士による食事指導を実施した。（非常勤栄養士7名） 愛知県9医療機関（内名古屋市3医療機関）、三重県2医療機関、岐阜県内2医療機関。 指導を行う管理栄養士は、あいち小児研修・栄養士委員会各月1回に参加した。 13医療施設で366回/年派遣指導を実施し、栄養指導は1750件/年実施した。</p> <p>その他： ・派遣栄養士に研修・勉強会の交通費は500円/回だったが、2017年7月から全額支給を開始した。 ・日本小児臨床アレルギー学会の参加費・交通費を派遣栄養士に支給し知識の向上に努めた。 ・勉強会は担当者制で毎月1回実施。指導者から助言をいただき、知識の向上に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="159 1612 1484 2083"> <thead> <tr> <th></th> <th>学会</th> <th>栄養士委員会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>4/2(日)外来小児科学会 春季カンファレンス</td> <td>4/22(土)17:00～20:00 あいち小児 「今年度の勉強会内容の検討」</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td></td> <td>5/27(土)17:00～20:00 あいち小児 「PAE 症例報告」</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td></td> <td>6/24(土)17:00～20:00 あいち小児 「給食について」 「難治喘息一般演題発表 思春期アンケート」予演</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>7/22・23 難治学会(全員参加) 一般演題発表</td> <td>7/31(月)14:30～17:30 事務局 「7/20 豊橋患者会 栄養相談報告」</td> </tr> </tbody> </table>			学会	栄養士委員会	4月	4/2(日)外来小児科学会 春季カンファレンス	4/22(土)17:00～20:00 あいち小児 「今年度の勉強会内容の検討」	5月		5/27(土)17:00～20:00 あいち小児 「PAE 症例報告」	6月		6/24(土)17:00～20:00 あいち小児 「給食について」 「難治喘息一般演題発表 思春期アンケート」予演	7月	7/22・23 難治学会(全員参加) 一般演題発表	7/31(月)14:30～17:30 事務局 「7/20 豊橋患者会 栄養相談報告」
	学会	栄養士委員会															
4月	4/2(日)外来小児科学会 春季カンファレンス	4/22(土)17:00～20:00 あいち小児 「今年度の勉強会内容の検討」															
5月		5/27(土)17:00～20:00 あいち小児 「PAE 症例報告」															
6月		6/24(土)17:00～20:00 あいち小児 「給食について」 「難治喘息一般演題発表 思春期アンケート」予演															
7月	7/22・23 難治学会(全員参加) 一般演題発表	7/31(月)14:30～17:30 事務局 「7/20 豊橋患者会 栄養相談報告」															

8月		8/21(月)14:30~17:30 事務局 「摂食機能獲得」 「外来小児科学会WS 離乳食の進め方」
9月	9/2・3 外来小児科学会	9/16(土)17:00~20:00 あいち小児 「食品表示を読む! ~実際の表示より~」
10月		10/28(土)17:00~20:00 あいち小児 「乳児の味覚の発達」 「離乳食試食の実施より、 現在の離乳食の問題点について検討」
11月		委員会なし
12月		12/18(月)14:30~17:30 事務局 「給食アンケート結果」
2018年 1月		1/27(土)17:00~20:00 あいち小児 「調理現場におけるコンタミネーション」 「1/29 講演会の予演」
2月	2/18(日)食物アレルギー研究会	2/19(月)14:00~17:00 事務局 「早産・低出生体重児」 「3/10 一般演題の予演」
3月	3/10(土)日本小児臨床栄養研究会 3/10(土)FAS あいち	3/21(水・祝日)11:00~12:00 事務局 「現状報告と連絡事項」 3/21(水・祝日)13:30~15:30 栄養士運営委員会 13 医療機関中 8 医療機関と栄養士 8 名参加

2. その他の事業

- (1) ベットマットの販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。
(2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(8年次目)
愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、
7月から12月の期間、17人の研修生を受け入れる。

事業内容	愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、7月から12月の期間、18人の研修生を受け入れる。
結果	県内保健所や子育て支援課の職員を中心に18名、7/3~12/12まで、各5日間受入れた。 研修生の報告書には・・・ ・ 普段の事務仕事では味わえない経験を多くすることができた。 ・ NPOと協働して事業を行うことの重要性とその意義について理解することができた。 ・ NPOの職員自身が当事者意識をもち、その活動は能動的意欲的で、自ら考え動くことを実践している姿が印象的だった。 ・ 行政は、行政ではできないことを認識しその分野をNPOや地域の人々に担ってもらえるような環境を整備していくことが社会から期待されていると感じた。 ・ 行政はNPOでは対応できないような公的なサポート、認知度が高いことによる相談窓口やNPOの紹介等の役割が期待されているのではないかと感じた。 などの感想があった。

Ⅲ. 会議の開催に関する事項

1. 総会

(1) 通常総会

ア) 開催日時及び場所 平成29年5月21日(日) 13:30-15:00 中村生涯学習センター

- イ) 議題 (1) 第1号議案 2016年度(H28)事業報告(案)について
(2) 第2号議案 2016年度(H28)収支決算報告(案)について
(3) 第3号議案 会計監査報告について
(4) 第4号議案 2017年度(H29)事業計画(案)について
(5) 第5号議案 2017年度(H29)収支予算(案)について
(6) 第6号議案 定款の変更について
(7) 第7号議案 役員の選任について
理事長の選任について

2. 理事会

(1) 第一回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成29年5月21日(土) 15:00-15:30 中村生涯学習センター

- イ) 議題 (1) 理事長及び副理事長の選出と各種委員会の設置について
(2) 顧問の選任について
(3) 総務担当理事及び事務局の体制について

(2) 第二回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成29年11月12日(日) 9:30-12:30 中村生涯学習センター

- イ) 議題 (1) 2017年度(H29)上半期事業報告および中間決算について
(2) 2017年度(H29)下半期事業計画・予算(案)について
(3) 審議・検討事項などについて
①ダニアレルギー対策会に協力
②リニューアル後のホームページ 原稿依頼
③寄付者の名前をホームページに掲載 検討
④2/12理事会後の勉強会について
日本アレルギー協会東海支部支部長 川部勤先生 のご協力
(名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻 病態解析学講座 教授)
(4) 今後の理事会開催計画
(5) 勉強会「アレルギー患者家族の支援者が知っておきたい住宅環境や、現状について
～生命記憶と住環境の自己構築力の可能性～」13:30-15:00
講師：一級建築士事務所 人建築事務所 関口啓介氏

(3) 第三回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成29年2月12日(月祝) 9:30-12:00 名古屋大学大幸キャンパス 東館

- イ) 議題 (1) 2017年度(H29) 事業報告(案) および 決算予測
(2) 2018年度(H30) 事業計画(案) ・ 予算(案)
(3) 審議・検討事項
①講演会・講習会の開催について
②学童保育指導員のためのアレルギー対応のてびき増刷、普及について
③患者会への情報提供

(4) 第四回理事会

ア) 開催日時及び場所 平成30年6月3日(日) 9:30-12:30

- イ) 議題 (1) 平成29年度 事業報告および決算について
(2) 平成30年度事業計画・予算(案)について
(3) 審議・検討事項などについて
(4) 今後の理事会開催計画